

さろま地区土地改良事業計画概要書

1 目 的	佐呂間町は北海道東部のオホーツク海沿岸に位置し、佐呂間別川流域に広がる低平地及び丘陵地において酪農・畜産と畑作が混在する農業地帯である。酪農については、豊かな土地基盤を背景に家族経営を主として規模の拡大を進め順調に発展してきたが、担い手の高齢化や労働力不足が顕在化している。近年では、乳牛の哺育育成センター及びTMRセンターの設置など農家の労働力を搾乳に集中させることで、乳量の増加を図るなど経営規模拡大やゆとりある農業経営確立のための振興が図られている。生産基盤については、これまで各種事業による基盤整備が行われてきたが、町内の土壌条件として、農地面積の約7割に重粘土土壌が分布しているため、草地整備の遅れや耕地面の起伏から共同収穫における作業効率の支障となっており、生育障害による生産性の低下も著しい状況となっている。このため、本事業により生産基盤を整備し、飼料自給率向上、作業性の向上を図り、地域担い手農家を中心に農業経営の安定化を目指す。												
	2 地 域 の 所 在 及 び 現 況	(1) 地域の所在		常呂郡佐呂間町									
		(2) 地域の現況											
		ア 地 形		天北山系の山々を背景に東西に長く、南北に高く北方に傾斜する数条の丘陵地帯を形成している。									
		イ 土 質		母材は堆積様式を洪積とする非固結水成岩からなる。									
		ウ 土 壌		褐色森林土、灰色台地土、灰色低地土									
		エ 気 象											
		平 均 気 温		5.3 ℃		かんがい期平均気温		15.3 ℃					
		平 均 降 水 量		786.5 mm		最深積雪深		－ cm		平均降水日数		136.0日	
		根 雪 期 間		11月30日から4月7日		無霜期間		4月8日から11月29日					
		オ 水利状況		畑作を中心とした地域であるが、一部河川沿いの農地においては稲作が行われていたため、佐呂間別川水系の河川を水源としたかんがいが行われていたが、現在は畑地への転換が進んでいる。									
		カ 営農状況		本地域の農業は、小麦、てんさいの畑作を中心として、かぼちゃ等の高収益作物を取り入れた複合経営を展開している。									
		キ 地域環境の概況		丘陵地帯にはカラマツ、トドマツなどの針葉樹が大規模に植林されている。									
		(3) 地積及び受益戸数											
		地 目 区分		田 (ha)	畑 (ha)	山林 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)			計 (ha)	受益戸数 (戸)	
		区画整理	現況		283.0						283.0	19	
			計画		283.0						283.0		
											0.0		
									0.0				
全体	現況		283.0						283.0	19			
	計画		283.0						283.0				
3 基 本 計 画	(1) 事業計画内容 土地の生産効率向上のため、区画整理を実施し、地域農業の活性化を図る。												
	(2) 環境との調和への配慮 工事における使用機械は、排ガス対策及び必要に応じて低振動・低騒音型機種を使用し周辺農家及び生物の環境に配慮する。												
4 工 事 又 は 管 理 の 要 領	主 要 工 事 計 画	事業種	受益面積		事業量及び事業内容								
		区画整理	283.0ha		起伏修正Ⅰ279.4ha、起伏修正Ⅱ2.4ha、暗渠排水8.5ha、除礫4.1ha 草地造成Ⅰ0.1ha、草地造成Ⅱ1.0ha								
	造成又は改良 される施設の 管理方法等	施設名		管理団体名				管理方法					
5 換 地 計 画 の 要 領	(1) 換地計画樹立の必要性												
	(2) 換地計画樹立の基本方針 ア 従前の土地の地積の基準												
	イ 農用地集団の方法												
	換地区	地帯別、グループ		個人別換地の方法									
		別団地の設定		位置選択		1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い					

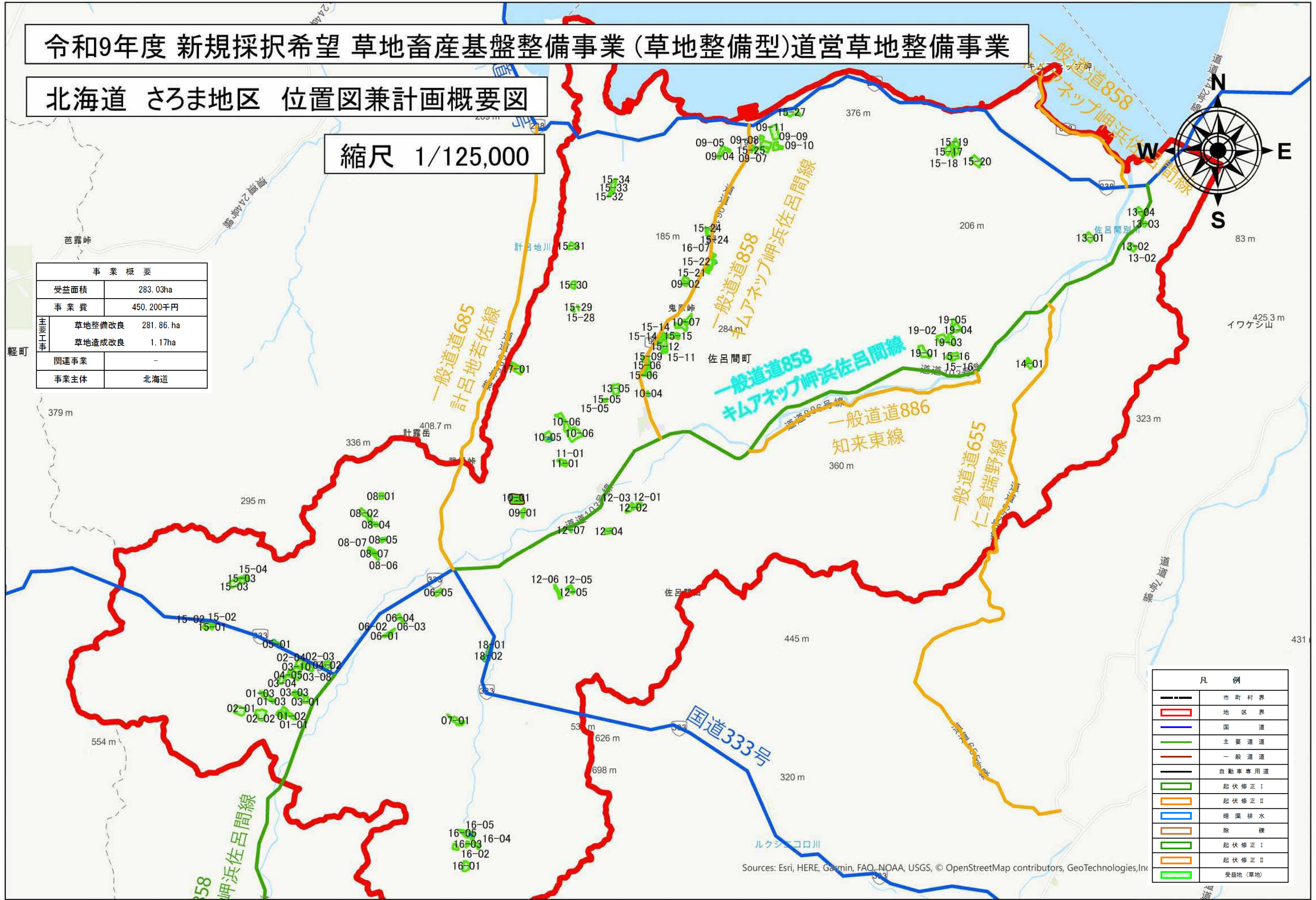
5 換 地 計 画 の 要 領	ウ 非農用地の換地方針									
	換地区	種類	非農用地区域 の位置の概略		面積 ha	換地の手法	換地取得		その他	
							予定者			
	エ 清算の方法									
	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積									
	換地区	機能交換に係る土地						一般公有地	合計	
		国有地	道有地	市町村有地	計					
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	(4) 換地処分の時期に関する特則									
	6 費 用 の 概 算	事業種		事業費		負 担 区 分				工期
				国	道	地元				
区画整理		千円 450,000		千円 225,000 0		千円 112,500 0		千円 112,500 0		
		450,000		225,000		112,500		112,500		
7 効 用	区画整理	(1) 事業の効用 区画整理の実施により、生産性及び作業性が向上し農業経営の改善、安定を図ることが出来る。 また、総費用総便益比についても、6.77と1.00以上となっている。								
		(2) 事業効果額								
		効果項目	食料の安定供給の確保に関する効果		その他効果					
		効果額（千円）	117,843		33,345					
		(3) 事業負担の見通し 増加所得償還率が5.0%で40%以下であるため負担については問題ない。								
8 事 業 と の 関 係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 該当無し							9 計画概要図 別図のとおり		
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当無し							10 その他		

令和9年度 新規採択希望 草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業

北海道 さろま地区 位置図兼計画概要図

縮尺 1/125,000

事業概要	
受益面積	283.03ha
事業費	450,200千円
主要工事	草地整備改良 281.86 ha
	草地造成改良 1.17ha
関連事業	-
事業主体	北海道



凡 例	
	市 町 村 界
	地 区 界
	国 道
	主 要 道 道
	一 般 道 道
	自 動 車 専 用 道
	起 伏 修 正 I
	起 伏 修 正 II
	暗 渠 排 水
	除 樋
	起 伏 修 正 I
	起 伏 修 正 II
	受 益 地 (草 地)

Sources: Esri, HERE, Garmin, FAO, NOAA, USGS, © OpenStreetMap contributors, GeoTechnologies, Inc.